

一般質問

・人口減少する中で  
のまちづくり  
について



植田浩之

問

25年後の2045年には御前崎市の人口が、本年

5月より1万1千735人減の1万9千214人となるという予測は、多少の増減はあっても避けられないと考えます。2000年

までは人口が拡大し、地域経済も発展し財政も豊かでした。その中で建設された様々な公共施設、これらも今後の人口の減少に合わせて、段階的に縮小していかないと維持管理等の負担が大きくなっていくと考えます。また、住民サービスを維持しつつ、新しい行政ニーズに対応していくには、必要に応じ近隣市との多様な分野で多様な形の連携を、環境の変化に応じて柔軟に見直しを行いながら実施するべきと思います。

これからの公共施設のあり方、広域連携について市長の考えは

答

人口減少や少子高齢化に伴う社会ニーズの変化、既存施設

の老朽化など、公共施設を取り巻く環境は、大きく変化しています。このような変化に対応しな

がら、限られた財源の中で、必要な公共施設を維持していくことが求められています。

本市では、平成27年度に御前崎市公共施設等総合管理計画を策定し、老朽化対策を効率的、効果的に進める長寿命化や保有量の最適化を進めるため、現在、所管課において、個別施設ごとに最適な維持管理に関する計画を作成しているところです。

公共施設の広域的利用については、人口減少が進み、公共施設の利用形態も大きく変化するなかで、広域的な連携を図り、必要に応じて施設を利用することは、公共施設マネジメントを進める上でも、大変重要なポイントだと思っています。市としましても、県が主催する行政経営研究会に参加し、県内の公共施設の現状把握と情報共有を図っているところであり、今後も広域的な公共施設のあり方を研究していきたいと考えています。

一般質問

・浜岡中学校校舎建設について



阿形 昭

問

来年2月の完成をめざして建設が進んでいる浜岡中学校新校舎。延期になった東京オリ

ンピックパラリンピックの影響や新型コロナウイルス等の影響はな

いか。建設工事の進捗状況は

5月末現在、マスター工程

20パーセントに対して遅れ

はありません。現在、1階床のコンクリート打設工事が終了しました。

答

のドアは不要だと思っ。特別支援学級の玄関が開き戸になってい

るが、肢体不自由の生徒が入級し、車椅子を利用することを考えれば、玄関は引き戸にすべきではないか。連絡通路の開き戸も、引き戸にすべきではないか

各用途に応じ、検討した結果が今の設計となっている。す。何にでもメリットデメリットがあり、安全について生徒を指導していくのが教育です。

問

安全に配慮した校舎にするために、現場教師の声を活かしてほしいが

校舎図面の段階から中学校側の意見を聞き、基本設計終了後の図面確認作業にも浜岡中学校教職員が参加しています。

答

生徒用トイレの入口にドアが付いていて、目が届かない場所になり、いじめや問題行動の温床になる可能性がある

心配だ。だから、トイレ入口

問

生徒用トイレの入口にドアが付いていて、目が届かない場所になり、いじめや問題行動の温床になる可能性がある

心配だ。だから、トイレ入口



浜岡中学校